



シェカール・メータ
2021-2022年度 R I 会長

No. 19

会長/President 島崎 真澄
幹事/Secretary 安藤 淳
クラブ会報委員長/Committee Man of Weekly Report 高橋 寿美江
第 1 週 2022年 5月13日 (金)
例 会 毎週金曜日
 点 鐘 12時30分
例 会 場 ホワイトイン高崎
事務所/Office
 高崎市本町144-1 光明第7ビル202号室
 T E L 027-328-3371
 F A X 027-328-3372
 http://www.takasakisymphony-rc.org
 E-mail:sym@po.wind.ne.jp
事務局員/Office worker 浅見 洋子
本日のプログラム 会長の日 島崎真澄会長
 川口修平ガバナー補佐来訪
 君が代、奉仕の理想
ロータリーソング
第1137回例会報告
 第2週 4月8日 (金)
 会場：ホワイトイン高崎 (お弁当持ち帰り)
 プログラム ゲスト卓話
 ロータリーの友編集長
 野崎恭子 様



御来訪者/Visitor 2名
 一般社団法人ロータリーの友事務所
 ロータリーの友編集長 野崎恭子様
 高崎東ロータリークラブ 豊泉 清君

出 席 報 告	
会 員 数	45 名
出席計算人数	45 名
本日出席者	35 名
本日出席率	77.78%
先々週出席率	64.44%

幹事報告/Secretary Report
 ・神戸東灘RC週報
 ・Rotary Club of Wahiawa-Waiialua週報
 ・群馬ダイヤモンドペガサスYEAR BOOK・公式戦日程・チケット
 ・令和の寺小屋活動報告 (京都南RC)
 ・創立記念式典等中止のご案内 (高崎南RC・前橋東RC)
 ・「ロータリーの友」購読料改定のお知らせ

・米山梅吉記念館館報・賛助会入会のお願い
 ・ハイライトよねやまVol.264
 ・各クラブ例会変更
委嘱状授与
 ・米山奨学生世話クラブ 高崎シンフォニーロータリークラブ
 ・米山奨学生カウンセラー
 豊泉君代君



ロータリー財団寄付表彰
 ・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー第4回
 宮田正枝君



米山記念奨学会寄付表彰
 ・米山功労者第3回マルチプル
 小野垣義男君



委員会報告/Committee Report
 ・会員誕生日祝
 橋爪 健君
 福田夕紀子君
 島崎 真澄君
 安藤 淳君
 ・配偶者誕生日祝
 泉 省平君 木村めぐみ君 ビューエル芳子君
 ・結婚記念日祝
 三浦 敦朗君
 小林 馨君
 井汲 憲治君
 長井 典夫君 高橋 栄江君
 ・出席率100%
 金子 秀隆君



ニコニコBOX/Donator Niconico Box
 高崎東RC 豊泉 清君
 (お誘いの声をかけていただき無上の光栄です)
 白石 隆夫君 (野崎編集長を迎えて)
 安藤 淳君 (")
 宮口 昌利君 (")
 折田 慶太君 (")
 泉 省平君 (")
 小野垣義男君 (")
 井汲 憲治君 (")



横山 正男君 (野崎様をお迎えして)
 橋爪 健君 (会員誕生日祝)
 福田夕紀子君 (")
 島崎 真澄君 (")
 安藤 淳君 (")
 泉 省平君 (配偶者誕生日祝)
 ビューエル芳子君 (")
 三浦 敦朗君 (結婚記念日祝)
 小林 馨君 (")
 井汲 憲治君 (")
 長井 典夫君 (")
 高橋 栄江君 (")

ロータリー財団BOX / Donator Rotary Foundation

手島 均君 宮口 昌利君 山口 俊彦君
 三浦 敦朗君 折田 慶太君 高橋 正光君
 長井 典夫君 島崎 真澄君

米山奨学会BOX / Donator Yoneyama Scholarship

三浦 敦朗君 折田 慶太君 君島 准逸君
 西野 宏君 島崎 真澄君

広報委員会

ロータリーの友 4月号記事紹介



次回例会予定

5月20日 (金) 於ホワイトイン高崎
 点鐘 12:30 通常例会

※以前ご案内のとおり5月22日の希望館BBQ大会は感染予防として中止となりましたので、以上のとおり通常例会となりました。



グローバル補助金について

国際奉仕委員長 横山 正男

上期末に国際奉仕委員会として会員の皆様に「国際奉仕に関係する意識調査」のアンケートを行いました。アンケートの設問の中で「グローバル補助金について？」の回答として、「あまり理解していない」という回答が42%、「全く理解していない」という回答が16%で、グローバル補助金について理解していない会員の割合は58%という結果でした。

過日開催された国際奉仕委員会の検討内容で、会員皆様にグローバル補助金の理解を深めて頂く必要があります。例会時に説明・勉強会を開催することになりました。しかし、コロナの影響で予定通りの例会開催もままならない状況が続く、例会時に「グローバル補助金の説明・勉強会」を開催することが日程

的に厳しくなりました。

今回、週報の誌面をお借りして、少しでも会員の皆様にグローバル補助金の理解をして頂けるよう記載を致しましたので宜しく願いいたします。

ロータリー財団より地区に分配された「地区財団活動資金」は、半分が「地区補助金」として使われ、半分が「グローバル補助金」の原資となります。この半分の「グローバル補助金」の原資に対し、「国際財団活動資金」より8掛けの金額が上乗せ補助されます。この合計の金額が地区グローバル補助金の活動資金となります。

会員皆様のロータリー財団への寄付金は、その3年後に分配されます。ロータリー財団の運営経費として5%、残りの95%を「国際財団活動資金」と「地区財団活動資金」に折半されて分配される仕組みとなっています。

さて、具体的なグローバル補助金を活用した事業を計画するとき、以下の要件を満たす必要があります。

「活動の種類」としては、次のようなものになります。

- ・人道的プロジェクト
- ・奨学金：大学院レベルの留学
- ・職業研修チーム (V T T)：専門職業に関係する研修を提供するチームや、研修を受けるチームを海外に派遣

グローバル補助金は、ロータリーの重点分野（「平和の推進」「疾病との闘い」「水と衛生」「母子の健康」「教育の支援」「地域経済の発展」「環境の保護」）に該当し持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援するプログラムになります。本プログラムの実施を通じてグローバルなパートナーシップを強化できます。

グローバル補助金の最低予算は30,000ドルであり、国際財団活動資金の最高授与額は400,000ドルとなっています。

また、活動が実施される国の地区とクラブおよび援助国側の地区またはクラブは、グローバル補助金を申請する前に、参加資格認定を受けなければなりません。

当クラブがグローバル補助金を利用したプロジェクトを進める場合は、上記の内容を理解したうえで、当地区の「グローバル補助金委員会」の分区担当者に相談をしながら進めて行くことになります。その時には事前に2840地区の用意した「ロータリー財団ハンドブック」に十分目を通しておく必要があります。

グローバル補助金を活用したプロジェクトをクラブとして取り組んでいくには、会員皆様のご理解とご協力が必要と共にクラブ全体として取り組んでいく事業となります。

世界的に猛威を振るうコロナ禍が少しでも早く終息し、本事業の取り組みが出来ることを願って止みません。

(注：グローバル補助金につきましては、年度により見直されるところが多少ありますので、その都度確認することが必要となります。)